



# プレーパーク レポート

第15号

2023年8月  
小鹿野町



夏のプレーパークはやっぱり  
手作りウォータースライダー！

## 体も心もめいっぱい遊んだよ！

7月30日の開催では、夏の恒例「ウォータースライダー」をみんなで手作りして遊びました。

東屋の下に保管してある木材を広場に運ぶところからスタート。まずは斜面を組み立てて、その後、斜度をつけて立ち上げます。

この間、居合わせた子どもたちも興味津々で大人たちのサポートのもとでネジ止めの電動工具と一緒に使ってもらいました。ちょっとドキドキしながらも自分も関わって作ったものがどんどん大きなカタチに組みあがっていく様を見て、子どもたちは目がキラキラ輝いていました。

この日はものづくりに関心があるという中学生も遊びに来ており、率先して一緒に手を動かしながら組み上げを手伝ってもらうことができました。完成したスライダーで滑る子どもたちの笑顔を見て、自分が作ったもので子どもたちが喜んでもらえるなんて嬉しいと感想を教えてくださいました。

夏のウォータースライダーに限らず、プレーパークの遊具は基本はその日にみんなで手作りしながら作り上げています。一緒にやってみたいことがある方、何でも良いからお手伝いするよという方、ぜひ、遊び場づくりを楽しんでもらえたらと思います。



下のじゃぶじゃぶ池で魚のつかみ取りイベントもあったため、120人を超える多くの参加者でにぎわいました。

ウォータースライダーの横には幼児も楽しめる様にと、地形の窪みを利用したミニプールを作りました。水運びも遊びとなり、大人を巻き込んでみんなでせっせと水を運び入れる様子がとても楽し気でした。



# 遊びの様子



今月は立教大学からボランティアの学生がたくさん来てくれました。下の魚つかみのイベントと半々に分かれてそれぞれで大活躍。子どもたちと年齢も比較的近く、すぐに子どもたちから引っ張りだこになっていました。

先月に引き続き、色水遊びも人気です。ペットボトル以外にも傘袋を利用してカラフルな飾りづくりも楽しんでいました。

「プレーパークのシンボルとなる横断幕をつくりたい！」というスタッフの希望で、今月は横断幕をつくることになりました。

絵の具で子どもたちが布に色を塗り、事前に残したい文字をテープでマスキングしておき、乾いたら剥がすというやり方です。

事前準備のテープ貼りは木陰で子どもたちの遊びを見守っていた母親たちに声をかけると二つ返事で快く引き受けてくれました。



ハイライト



絵の具はアクリル絵の具です。子どもたちが気にせずどんどん色を重ねていけるように、色を赤、オレンジ、黄色の暖色系のみに限定して用意しました。

はじめは筆で少しずつ塗り重ねていていた子どもたちも、徐々に手足にも絵の具を塗って、全身を使ってべたべたと布地を埋めていきました。完成品をお楽しみに！！